

# えんまおうざぞう 閻魔王坐像

重要文化財  
奈良・東大寺  
木造彩色  
鎌倉時代(13世紀)

## 平常展の みどころ

### てい 鼎

奈良国立博物館(坂本コレクション)  
青銅製 高25.3cm、口径19.3cm  
中国・西周中期(紀元前10~9世紀)



閻魔はインドの冥界の王であるヤマが仏教に取り込まれたものであるが、その信仰が大きな展開をみせたのは、唐時代の中国においてである。ここに至って死者が冥界の十王庁を巡廻して生前の行状を審判され、次の生を定められるという考えが確立され、閻魔は死後世界全体を主宰する一方、十王の一人として死後五七日(三十五日)の裁判にあたる恐るべき存在と位置づけられた。

中国式の裁判官の姿をとるこの閻魔王像も、基本的にこの流れにのる遺品であるといえる。頭部は肩にめり込むかのようで、口を大きく開いて怒号する表情は、威圧的な迫力に満ちている。鎌倉彫刻特有の写実主義が顕著にうかがえる一方で、閻魔の特徴を引き出すべく、各部の造形において思い切った誇張と省略の表現が行われている点が目を引く。

本像は嘉禎3年(1237)に康清によって制作された東大寺念佛堂本尊の地蔵菩薩像の脇侍として、やはり十王の一人である泰山府君像と一緒に造立されたと考えられている。六道をめぐる衆生の救済者である地蔵に対する信仰は、行いの善惡を見抜き、これを裁く者に対する畏怖の感情と、表裏一体をなしているのである。

稻本泰生(当館企画室長)  
本館第3室にて8月19日から展示

この奇妙な人形の記号はいったい何と読むでしょう? 今からおよそ三千年前の中国では、こうした文字が青銅器に刻まれていました。片手を挙げた無邪気な姿は、漢字の「子」の原形です。両手で抱きつくような姿は、さらに小さな子供のイメージ、すなわち漢字の「孫」の原形。正解は「子孫」です。このように、私たちが使っている漢字の中には、物事の形を起源とするものが少なくありません。漢字研究の大家、白川静氏は、「漢字は原始より現代に至るまでを一貫して生きつづけてきた、唯一の文字体系である」といっています(白川静 岩波新書『漢字』)。

エジプトのヒエログリフやメソポタミアの楔形文字など、古代文明の文字はことごとく死滅しています。その意味で、私たちは東洋の偉大な遺産を受け継いでいるといってよいでしょう。古代の中国人は青銅製の容器を作り、神や祖先のお祭りに使いました。銘文の内容は「王から恩賜を頂いた」、「これを記念して先祖の靈を祭る器を作った」、「子孫の代まで伝えよ」という意味です。名譽を重んじ、先祖や親を敬う。後の儒教の精神へつながる思想がここに認められます。

吉澤 悟(当館教育室長)  
本館第15室にて展示中



「これ八月初吉(第一週)、辰は乙卯に在り。公、旗□と旗(軍旗と旗竿?)を賜ふ。用て文父日乙(乙という名の宗廟に祀られる文氏の先祖)の實隣彝(青銅の容器)を作り、子孫に析す(分かつ)。」

唯八月初吉  
辰才(在乙卯公賜)  
文父日乙實  
旗□旗用乍作  
隣彝析子孫

## 開館予定(7月~9月)

### ■開館時間

午前9時30分~午後5時(毎週金曜日と8月9・10・13・14日は午後7時まで)  
※いずれも入館は閉館の30分前まで

### ■休館日

月曜日(祝日の場合はその翌日)  
※8月11日は開館します。

## 観覧料金

### 特別展「国宝 法隆寺金堂展」

### 特別展「西国三十三所一観音靈場の祈りと美一」

	一般	高校・大学生	小・中学生
個人	1,200円	800円	500円
前売	1,000円	600円	300円
団体	900円	500円	200円

### 平常展(特集展示を含む)・特別陳列

	一般	高校・大学生	中学生以下
個人	500円	250円	無料
団体	400円	200円	

\*団体は責任者が引率する20名以上。

# 奈良国立博物館 Nara National Museum

〒630-8213 奈良市登大路町50(奈良公園内) TEL. 0742-22-7771 FAX. 0742-22-7221 テレホン・サービス 0742-22-3331 ホームページ(URL) <http://www.narahaku.go.jp/>

『奈良国立博物館だより』は、1・4・7・10月に発行します。郵送をご希望の方は、何月号かを明記し、返信用封筒を同封して、当館の情報サービス室にお申し込みください。  
※返信用封筒には宛名を明記し、長形3号の場合は90円切手、角形2号の場合は120円切手を貼付してください。



(交通案内)近鉄奈良駅下車徒歩15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通「市内循環」バス「氷室神社・国立博物館」下車

\*当館には駐車スペースがございませんので、最寄りの県営駐車場等(有料)をご利用ください。